

草津宿本陣一般公開再開記念
本陣四季彩々 番外編「涼暮月のフォトレッスン」



歴史的な空間の中で、写真撮影を学んでみませんか。フラワーフォトの第一人者を講師に迎え、写真の基礎からライティングなどの実践的な内容まで学べます。本陣という特別な空間で和のうつわや花を撮影します！

- 講師 山本正樹さん(プロカメラマン)
- 🕒 6月22日(日) 10:00~12:00、13:30~15:30 所 史跡草津宿本陣
- 定 各12人(先着順) ¥2,500円(入館料を含む)
- 他 カメラ(スマートフォン可)を持参してください
- 申 6月3日(火)~、電話かファクスで
- 申・問 史跡草津宿本陣(草津一) ☎・FAX561-6636

✂キリトリ



水生植物公園
みずの森

〒525-0001
下物町1091
☎568-2332
FAX568-0955



歴史ギャラリー 山伏の絵師 横井金谷が描いた「瀑布図」

No.211

「近江蕪村」と称される横井金谷は宝暦11(1761)年、栗太郡下笠村(現在の草津市下笠町)に生まれました。本職は浄土宗の僧侶であり、京都の北野にあった金谷山極楽寺で住職となりました。この山号「金谷山」から雅号「金谷」が名付けられています。その後、天明8(1788)年に起こった京都大火で極楽寺も類焼します。金谷はこれを機に、城崎(兵庫県)での湯治に出て、続いて、瀬戸内地方から、はるばる長崎、天草(熊本県)までを訪れました。法善寺(大阪府)に滞在した時、仏画を手掛けたのが絵を描くきっかけとなったと自伝「金谷上人御一代記」で語っています。「金谷上人御一代記」には、突飛で滑稽な記述も多く、その全てが事実かは明らかではありません。しかし、金谷の前半生は「旅する奇僧」として生きていたといえるでしょう。

文人画を描き始めたのは放浪の旅をしながらも名古屋に留まった30代後半頃からのようで、近江出身の南画家・張月樵に教えを受け、与謝蕪村の風景画を模写したのが始まりです。その後、文化6(1809)年、修験道の道に入り、大峰山で山伏として修行をしています。霊山での修行や自分の籠った深山での経験は、金谷の芸術に深い影響を及ぼしました。放浪のうちに生涯のほとんどを送り、修験者であった金谷の自然を描いた風景画は力強く、与謝蕪村とは違った金谷の山水画の世界感があります。その霊山巡拝の経験は、中国を模した険しい山よりも、はるかに大らかな型にはまらない筆遣いに変様させました。

本図は、12カ月の風景を描く揃物の中の一冊で、6月の風景を描いています。緑の山塊より流れ落ちる瀑布が生み出す涼しげな風景は、自由奔放な筆致で描かれています。その前で宴を催す人々もどこことなく楽しんで、自然を敬う気持ちが伝わってくるようです。

7月21日(月)迄まで、草津宿街道交流館の2階で7月の絵と併せて展示していますので、ぜひご覧ください。



▲横井金谷「瀑布図」(草津市蔵・中神コレクション)

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)



市の花
アオバナ



市の木
キンモクセイ

市公式ソーシャルメディア



草津市メール
配信サービス

市の情報をメールで
配信するサービス



くさつチャンネル

さまざまな動画や、
びわ湖放送(BBC)で放送されている
草津スケッチもこちらから配信!



4月30日現在
(対前月比)

- 人口 140,740人(+247)
- 世帯数 65,184世帯(+284)
- 男 70,478人(+154)
- 女 70,262人(+93)